

## 2024年9月のブルーベリー農園1

ブルーベリーの摘み取りはそろそろ終わりかけている。初秋なので農園の周辺では稲刈りが始まり、野の花が夏の終わりをつげ、秋の到来を教えてくれる。東広島市豊

栄町のブルーベリー農園に安芸区の自宅から通いブルーベリー栽培をつづけているが、猛暑の夏の農作業はどうにか乗り越えることができた。ブルーベリー落葉をまって剪定を始めるのでそれまでは緑肥用のカバークロープの構想などを練りながら農作業を続けることになる。

9月1日(日) 今年はフランネルソウの種がたくさんとれた



9月7日(金) 友人グループが終わりかけのブルーベリーの摘み取り援農に来園。安芸の郷への納品量も少なくなってきた



9月3日(火) 畑のブルーベリーにミノムシが発生する季節になった。見つけ次第手で取り除く



9月6日(金) 里道の草を刈るのも農園の維持管理のひとつ。地べたには初秋の野の花が咲いている



9月2日(月) 稲刈り作業が農園から見える



① 野生のリンドウは一株しかなかった





② オトコエシ (男郎花)



⑤ この稲田はまだ刈り取っていない



③ イワシャジン



早生のブルーベリーにはもう花芽ができています



④ ネジバナ 季節をずらして咲いているので懸命感が漂う



2024年9月8日  
社会福祉法人安芸の郷  
理事長 遊川和良

《2024年9月8日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログ  
に掲載したものに写真を加えて編集しなおしています》